

美術作品を楽しむ

- 1週 夏目漱石以後のロンドンの日本人と美術；オスカー・ワイルド、橋口五葉、吉田健一ほか
- 2週 青色と虹の藍色（インディゴ）はいつ発見されたのか？ジオットー、ニュートン、浮世絵、尾形光琳
- 3週 美術と技術は生活に何をもたらしたのか？；ロンドン万博、ラファエルロ前派、ウィリアム・モリス
- 4週 テート・ギャラリーを訪ねて；ジョン・コンステブルの絵画にイギリスの田園見る
- 5週 ターナー以後のイギリス美術；「英国美術の現在史、ターナー賞の歩み」展（森美術館）から
- 6週 ファンタジーの成立；ルイス・キャロルの不思議の国の少年少女の写真をめぐって
- 7週 ロンドンの青春；ブルームズベリー・グループの美術と文学、ヴァージニア・ウルフ、ロジャー・フライ
- 8週 ロンドンのナショナルギャラリーから；絵画は何を表せるのか＝ベラスケス「鏡の前のヴィーナス」
- 9週 液状化する人間；フランシス・ベーコン、ルシアン・フロイトほか
- 10週 大英博物館とテート・モダンを訪ねて；イギリスの中の世界の美術
- 11週 ロンドン燃えているか；ターナー「国会議事堂の火災」からジュリアン・オピー、デミアン・ハーストまで
- 12週 試験またはレポート作成

絵本工房

- 1週 様々な絵本・本（本という可能性）
- 2週 『本』のしくみを考える。（本で何が表現できるか）
- 3週 本の再構築（それをどう表現するか）
- 4週 トライ・アンド・エラー
- 5週 トライ・アンド・エラー
- 6週 設計（最終行程までイメージ）制作
- 7週 制作・製本
- 8週 制作・製本
- 9週 制作・製本
- 10週 制作・製本
- 11週 制作・製本
- 12週 製本・総評

シルクスクリーン・ワークショップ

- 1週 課題説明とプランニング
- 2週 <2つの以下の課題から自分の挑戦してみたい項目を選択。12回で最低2点の作品を完成させる>
- 3週 (1)色の発色、重なり表現効果を、多色刷りの作品の制作を通じて追求する
- 4週 (使用素材：主に紙／制作する媒体：本、版画作品、ポスター等)
- 5週 (2)いろいろな素材へのプリントに挑戦し、オリジナルな表現を追求する
- 6週 (使用素材：布／紙／アクリル板／フィルム類／木製板等)
- 7週
- 8週
- 9週
- 10週
- 11週
- 12週 講評会

絵画の教室

- 1週 絵の具による着彩画（モチーフを用意しての制作）1
- 2週 //
- 3週 //
- 4週 //
- 5週 屋外スケッチによる制作（スケッチをもとにした着彩）1
- 6週 //
- 7週 //
- 8週 //
- 9週 自由制作（テーマとモチーフを各自で設定）①
- 10週 //
- 11週 //
- 12週 //

人物クロッキー

- 1週 オリエンテーション。資料の説明。クロッキーのポイントの説明
- 2週 20分ポーズを中心に簡単な立ち、座り、寝ポーズを描く（コスチュームモデル）
- 3週 プロポーションを意識して描いてみよう（やわらかい画材を使って）
- 4週 重心の位置について考えてみよう（ムーヴマンってなんだ？）
- 5週 ペンを使ってラインの美しさを追求（曲線、直線を組み合わせると？）
- 6週 40分ポーズで細部まで、じっくり観察（じっくりと見て、ありありと描く）
- 7週 コンパス・定規で人体を再構築（明快な形にしよう！）
- 8週 後ろの色を変えると人体は…（水彩アクリル表現）
- 9週 遠近法を体験（直線でかこまれた人体）
- 10週 グレーの紙に白コンテと鉛筆で描く（ボリュームを出すのに必要な考え方）
- 11週 黒い紙に白いラインで（装飾的表現に挑戦）
- 12週 ゆっくり動くモデルの筋肉や関節の形をつかまえる（記憶される人体）

写真表現ワークショップ

- 1週 ガイダンス、フォトグラム実習
- 2週 ミニミニピンホールカメラ制作→撮影→プリント
- 3週 シャッタースピードと絞りの関係性
- 4週 中途講評会
- 5週 アーティスト・展示・ギャラリー等の紹介
- 6週 写真系展示観覧、洋書屋巡り
- 7週 粗粒子・微粒子
- 8週 粗粒子・微粒子
- 9週 長時間露光
- 10週 印画紙研究
- 11週 自主制作
- 12週 講評会

フィルム・ワークショップ

- 1週 フィルム・メディアの特性1
- 2週 8mmフィルム・カメラとその操作
- 3週 撮影と現像1
- 4週 フィルム編集とサウンド
- 5週 8mmフィルム・カメラによる表現
- 6週 フィルム・メディアの特性2
- 7週 16mmフィルム・カメラとその操作
- 8週 16mmフィルム・カメラによる表現1（フィルム・ペインティング）
- 9週 16mmフィルム・カメラによる表現2（レイヨグラム）
- 10週 実験映画史
- 11週 フィルム作品の配給と公開
- 12週 作品講評